

# 市公連だより

## 公民館紹介

### 「地域の学習と交流の場をめざして」

#### 桜木公民館長

#### 細川 末廣

桜木公民館は熊谷駅南口から東へ、桜木町、曙町、万平町からなる桜木小学校区に平成二年開設しました。南は桜の新土手、北は高崎線に囲まれ、地域の中心を東西に昭和二十九年まで足利時代に造られた熊谷堤が通り、桜の名勝として歴史に名を残しています。今、その一部が万平公園として桜並木、石碑群、蚕



霊塔と共に保存され、地域のシンボルとなっています。

公民館活動は、年十五回の「桜木わくわく学習講座」と「三十の学習グループ」です。講座は毎年一つ新講座を心がけ、直近五年では、俳句教室、和菓子作り、クリスマスリース作り、吹矢教室、今年健康ヨガを予定しています。学習グループは講座から同好会に発展して、直近五年で健康吹矢くらぶ、桜木水墨会、元気体操の会、万平公園史跡研究会が新たに加わりました。

これらの活動の集大成として、毎年二月に「桜木公民館まつり」を開催、昨年度で二十八回を迎えました。展示発表の部が公民館で3日間、中日に桜木小の体育館で芸能発表の部が行なわれます。この「まつり」は公民館利用者以外の地域の皆さんも参加し楽しい地域交流の場にもなっています。

《「暑くない」そんな人ほど 熱中症》

第29号  
発行 熊谷市公民館 山川幸男  
事務局長 熊谷市公民館  
中央公民館  
電話 048-523-0895

います。



今後とも公民館三十年の活動を継承、創造し地域の皆様に貢献したいと思っています。

### 地域とともにある

### 公民館を目指して

#### 中条公民館長

#### 大塚 正明

中条公民館は熊谷市の北東部に位置し全域が旧北埼玉郡中条村の区域です。管内人口は約四千四百人、今年度の中条小学校の在籍数175人、中学校93人となっています。

館は昭和47年に建設された鉄筋コンクリート造り平屋建ての農村センターに含まれる施設です。部屋はホール・和室・調理室があり、生涯教育・社会教育活動に利用されています。職員は、館長・副館長5名・主事2名・事務嘱託2名です。

からは料理クラブによる豚汁とおにぎりのサービスがあります。又毎年趣向を凝らした鑑賞会を計画しています。例をあげますとコーラス部のコーラス・中学校生徒による琴演奏・ヴィオリラの演奏等です。

学習グループは、民舞・フォークダンス・卓球・吹矢・自彊術・写真・パッチワーク・料理・大正琴・折り紙・切り絵・絵画の13グループがあります。その他、生涯学習講座の開設・公民館文化祭・敬老会・菊花展・盆梅展等を各団体と協力して開催しています。

昨年度は和太鼓の演奏を楽しみました。食後は隣接する中条農村広場でグラウンドゴルフのホールインワン大会を行い楽しいひと時を過ごしました。

特に力を入れて展開しているのは、公民館と学校・地域が協力して行う地域づくり事業です。この事業には、歩け歩け大会・大運動会・中条大縁日祭・防災訓練等があります。



今回は歩け歩け大会について紹介します。この事業は、毎年春のゴールデンウィークに行われ、小中学生をはじめ地域の人々の参加により、公民館からスポーツ文化公園を経て戻る7kmのコースを歩きます。そして公民館に戻って

以上のように「地域とともにある公民館を目指して」活動しております。今年も新型コロナウイルスの影響で活動も制限されておりますが、常に公民館活動に積極的に参加、協力して下さる地域の皆様感謝し紹介と致します。

《エアコンを上手に使い 健康管理》

新型コロナウイルスとの共存

熊谷市公民館連合会会長 山川 幸男



引き続き会長職を仰せつかりました、どうぞよろしくお願いいたします。

ご退任・異動されました会員の方々には、当連合会の運営に種々ご尽力いただき感謝申し上げますとともに、新たに会員となられました皆様には、新しい風を吹き込んでくださいますよう期待しております。

本年5月15日に開催される予定でありました総会は、新型コロナウイルスの感染防止のため書面表決となりましたが、全議案を御承認いただき本年度の活動を開始することができました。

さて、市内の公民館は、3月9日から休館となりました。

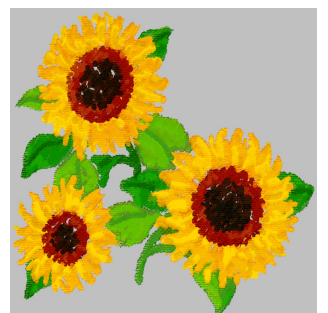
休館中、再開に向けて利用方法等の検討や、施設・来館者・職員等の消毒方法の検討など、各館とも準備を進めてまいりました。この間ご尽力いただいた館長、主事、職員の皆様には改めて厚く御礼申し上げます。

そして、慌ただしく6月8日に利用再開となりました。政府の唱える、「新しい生活様式に対応した公民館の利用」に向けて、今後とも手探りの運営が続くと思いますが、公民館同士が結束し、柔軟な発想のもと、いつ明けるか想像し難いこの惨禍を乗り越え、今まで通りの公民館活動が行われることを願ってやみません。

結びに、時節柄、会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、公民館の限りないご発展ご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

人と人をつなぐ公民館

熊谷市教育委員会教育長 野原 晃



の向上・健康増進等多方面に多大な貢献を頂いております。

本年はいよいよ東京オリンピック開催という矢先に、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、全ての人が今までの経験した事の無い「外出自粛」を余儀なくされ、改めて日常生活の有難さ、そして人とのつながりの大切さを再認識したところです。

これまで公民館は地域の人々が集い、互いに学び合う活動を通じて、まさに人と人をつなぐ役割も担って参りました。

た。今後その役割は益々重要になると確信いたしております。

さて新型コロナウイルスの感染防止のため、「新しい生活様式」での行動が求められております。公民館の運営・活動はこの行動規範に沿って行うため、制約を受ける場面が多々ありますが、「命を守るための行動」と御理解いただき、新様式での公民館運営をお願いいたします。

感染拡大前の日常へ戻るには、まだまだ道半ばではありますが、「皆様に親しまれ、皆様を元気にする」公民館の使命は今後も不変であり、今までと変わらない御尽力を重ねてお願いいたします。

結びに、熊谷市公民館連合会の益々の発展と、会員皆様の御健勝を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

新任館長あいさつ

熊谷東公民館長

岩田 秀夫



東公民館設立後、三代目の館長として就任いたしました。地域利用者の皆様から愛される公民館となるべく公民館一同尽力を尽くします。

但し今年には「新型コロナウイルス」の影響で過去の公民館利用方法を改め、新しい生活様式での利用者への便宜を工夫していく非常に重要な年となります。無い知恵を絞り少しでも皆様のお役に立ちたいと考えております。皆さん一緒に頑張りましょう。公民館での私の人生訓(役割)は、「人生の生き方」夢を持って楽しく暮らす」人を支援する事だと思っています。今後とも皆様の「ご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

男沼公民館長

原口 香



この度、四月一日付けで、

男沼公民館長に就任いたしました原口です。男沼公民館は、地域の身近な交流拠点として、スポーツや文化活動等のサークルを実施し、地域の人が生活の中で気軽に集い、共に学びながら、地域コミュニティ作りの役割を担ってまいりました。然しながら、時代の流れと共に、地域住民の減少に伴い、活動内容等の検討を余儀なくされる状況ですが、今後は、自治会や各種団体の皆様と共に協力を得ながら、社会の要請に対応した取組や、地域の皆様が満足される様な活動を目指して行きたいと考えております。

すので、皆様の御支援、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

小島公民館長

小林 義一



4月から小島公民館長に就任いたしました小林です。

小島地区は南に利根川、北に石田川に挟まれた昔から水害の常習地区で、地域は協力的な方が多い。最近では世帯数の減少、高齢世帯の増加もあり自治会、地域内の各種団体から協力を頂き公民館活動を実施し、参加者の増加に努めております。

また地域のまとまりは良く夏の納涼祭は同級会の様子、秋のレクリエーションフェスタには老若男女の参加の下、地域のコミュニティ活動の一助となっております。その他の公民館主催事業として地域の指導者の下、菊の栽培・押し花教室・草木染め等多彩な講

座を予定しております。

なにごん微力ではございますが小島地区の充実に努めてまいりますので、地域の皆様方のご支援ご協力の程お願い申し上げます。

別府公民館長

新井 守



令和二年四月一日付けで、

別府公民館長に就任いたしました新井守です。これまで四年間、公民館主事として、生涯学習講座「あいの泉教室」の実施や別府自治会連合会との共催事業の別府地区体育大会や合同防災訓練の事務局を担当してきました。高橋勇前館長の退任の意向を受けて、後任となりました。

現在の別府公民館の敷地は移転した別府小学校の跡地で明治中期に木村家から寄贈された土地です。建物は、平成十六年に東別府出身の東京歯科大学名誉教授、故坂田三弥

先生から熊谷市に寄贈された二億四千万円によって建設されたものです。

地域の先人、先輩から寄せられた熱い心と期待に応えられるように、主事・職員と共に、全力で公民館活動の充実に取り組んでまいります。

江南公民館長

岡田 恒雄



四月一日より江南公民館地域館長として就任いたしました岡田と申します。

当公民館は、平成八年に江南総合文化会館内に併設され、文化会館と図書館と共に学習や憩いの場として多くの皆様に親しまれております。また、数多くの文化・歴史を残し、自然環境に恵まれた地域です。是非、お立ち寄りください。

四月就任早々に新型コロナウイルスの感染症により、事業や施設利用が中止状態で戸

《熱中症 未然に防ぐ》

《ヒンヤリハット》

《 炎天下 まちなかオアシス ひと休み 》

惑いの中でのスタートとなり  
ましたが、現在遅れを取り戻  
すべく事業展開しております。

公民館は生涯学習の機会を  
提供し、地域づくりの拠点で  
もありません。地域の皆様がふ  
れあい、学びの場として幼児  
から高齢者までが笑顔で利用  
していただけるよう努力をし  
てまいりますので、ご支援ご  
協力をお願い致します。

佐谷田公民館長

橋本 耕作



4月より佐谷田公民館地域  
館長に就任いたしました橋本  
耕作と申します。

地元地域では幼少の頃より  
大変お世話になりました。

社会情勢の厳しい環境の中  
で変化に対応する力が求めら  
れていると感じております。

身近な公民館として何がで  
きるのか、足元をしつかり見  
つめながら自分たちにできる

ことを一つ一つ進めていき  
たいと思っております。

社会では自由には責任が伴  
うと学んできました。今回不  
自由を感じておりますが、不  
自由にも責任を伴うことにも  
気付かされる思いです。何を  
どのように、どこまでできる  
のか不安な部分もありますが、  
今後も地域の方々のご理解・  
ご協力をいただきながら、微  
力ではありますが、地域公民  
館としての役目を果たしてま  
いりたいと思っております。

長井公民館長

尾高 利夫



四月一日付けで長井公民館  
長に就任致しました尾高利夫  
と申します。

長井公民館は地域の人たち  
が地域文化や教養の向上、ス  
ポーツ活動の拠点として気軽  
にご利用いただいております。

地域の老人会が中心となつ  
た嬉愛学級や女性学級が中心  
となつて人権学習や陶芸教室  
等体験学習会を開催していま  
す。また、長井地区自治会連  
合会や民生委員会と共催で敬  
老会を開催しています。長井  
地区グランドゴルフ大会は公  
民館主催で七月と十月に開催  
しています。

定期利用団体は12団体あり  
ます。趣味や健康増進の目的  
で活動されています。今年は  
コロナウイルス感染防止のた  
め六月現在自粛中です。  
公民館は地域の人々が集い  
繋がる場となるよう職員一同  
努力して参ります。

中央公民館長

橋本 裕美



この度、中央公民館長に就  
任いたしました橋本です。  
歴史ある中央公民館長に名  
を連ねることとなり、大変名

誉なことであるとともに、そ  
の職責の重さを痛感し、身の  
引き締まる思いです。

約三十年ぶりに戻つて来た  
中央公民館は、時の経過とと  
もに変わったこともあれば、  
当時のままのものもあり、と  
ても親しみやすいところです。  
新型コロナウイルス感染拡大  
防止のため三か月程休館し、  
新しい生活様式による公民館  
利用となるため、休館前と同  
様とはいきませんが、公民館  
は、地域の課題を解消し、市  
民の幸せを育む場所でありた  
い。そんな素敵な仕事に関わ  
れることを嬉しく思います。

地域に根ざした魅力ある公  
民館を目指してまいりますの  
で、皆様の御指導御鞭撻の程  
どうぞよろしくお願いいたし  
ます。

妻沼中央公民館長

関口 ゆかり



四月一日付けで、妻沼中央  
公民館長に就任いたしました。

妻沼中央公民館は、妻沼地  
域の中央館として今年で開館  
40年を迎えます。けやき大学  
をはじめ各種生涯学習講座や、  
学習グループの学び・集いの  
場として、また併設された大  
ホールは様々なイベント会場  
として、多くの方にご利用い  
ただいておりますが、この4  
月からは新型コロナウイルス  
感染症との闘いからのスター  
トとなりました。

市としても感染防止と人命  
尊重の観点から、公民館を休  
館とする判断をしました。今  
までに経験したことのない未  
知の状況であり、先が見えな  
い中にあります。

今後は、新しい生活様式を  
取り入れた公民館運営を新た  
な課題とし、「わくわくいき  
いき公民館」をテーマに、笑  
顔があふれ、新しい生活様式  
の中でも足を運びたくなる魅  
力ある公民館を目指してまい  
ります。

退任館長あいさつ

前熊谷市市公連副会長  
前長井公民館長  
戸井田 光二

平成二十四年七月一日付けで熊谷市長井公民館長に就任以来七年九カ月間、在任中は地域の皆様をはじめ、長井自治会連合会、各種団体、小学校、中学校の皆様には大変お世話になりました。

敬老会では、中学校の吹奏楽部の皆さんに、演歌や昔懐かしい曲を演奏していただきました。参加者の中には、孫の成長を見て感動して涙を流す人も多くみられました。人と人との繋がりにふれ、自身の上心が高まり、非常に良い経験を見せて頂きました。皆様のご協力により無事に職務を果たす事ができました。各公民館活動に参加された方々に改めて御礼申し上げます。

結びに市公連の各公民館長様には公私ともお世話になりました。公民館連合会の皆様のご多幸ご活躍を祈念いたします。

まして、退任の挨拶といたします。

前別府公民館長  
高橋 勇

地域の皆さんや関係各位のご協力を頂きながら別府公民館の運営に関わってきました。別府公民館は館内住民の約六割が別府地区を墳墓の地として他地区から移り住んで来た方々です。

公民館は出会いと繋がりの場、地域社会作りや郷土愛醸成のお手伝いを、災害時は命を繋ぐ処です。そのためにできるだけ多くの地域の人が気軽に集まれる公民館を目指して、地域の人と顔馴染みになるために来館者に声を掛けて糸口作りに心掛けました。

昨秋の台風や新型コロナウイルス禍を体験して、私達は常に災害や病気などの危機と生きていることを思い知らされました。新型コロナウイルス禍では都市封鎖などの強制でなく要請(お願い)で難局を乗り切りました。これは日本人の自中心と団結力の賜であることを感じました。公民館の持つ地域社会作りの機能は今後も益々求めら

れることを痛感した次第です。

前佐谷田公民館長  
杉浦 肇

新型コロナウイルス禍の中、三月三十一日付けで退任致しました。在任中は、市公連の皆様をはじめ地域の方々のご教示、ご協力を頂き責務を全うする事が出来ました。お世話様になり、ありがとうございます。

公民館活動を通じて痛切に感じた事は、人々を集めて頂く事と、地域の方々に喜んで参加して頂ける魅力ある事業を企画実行するのが如何に難しい事であるかでした。その難題も地域の皆様はじめ関係者の方々及び職員達のご助力により克服出来たものと感謝しています。

公民館の休館も解除され、市公連の皆様には多忙の日々が訪れると想いますが健康にご留意なさり、ご活躍下さるようお願い致します。結びに、市公連の益々の発展と皆様方のご健勝を祈念して、退任の挨拶と致します。

前小島公民館長

舞原 國雄

二期四年間、公民館長としてお世話になりました。

現役時代(教員)に一カ月程大学で研修を受け社会教育主事の資格を取得いたしました。かれこれ三十年前の事なので、学んだことはほとんど役に立ちませんでした。社会教育は、学ぶ人達の主体性が基本であり、あくまでも任意の活動です。そこに、公民館活動の難しさがあります。

小島地区は、少子高齢化が他地区以上に進展し、十年程前に小中学校とも休校せざるを得なくなり、現在に至っています。

四年間を振り返りますと、館長としてどれほど貢献できたか。反省することしきりです。特に最後の一年間は体調を崩し、役割を果たせませんでした。大変残念に思うと同時に不完全燃焼で終わるにつけ慚愧の念に堪えません。共に活動した公民館長並びに関係者の皆様大変お世話に

なりました。

前江南公民館長  
野本 澄子

退任し二カ月経った今、在任中の四年間を振り返ってみますと、利用者の皆様の暖かいご指導、ご協力、さらに弛まない職員の努力と頑張りによりえられ公民館事業を順調に推進する事が出来ました。改めて深く感謝申し上げます。

また、老朽化した陶芸窯の交換は、陶芸クラブ員をはじめ利用者皆様の強力な要望により実現したもので、より充実した陶芸活動が行われております。

現在熊谷市公共施設アセツトマネジメント構想が推進される中で、地域を越えた公民館活動が考えられることもあり、今後江南公民館において沢山の方々に陶芸を楽しんでいただける様願っております。結びに、地域の皆様、市公連、公民館関係者の皆様に感謝を申し上げ、併せて皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。退任のあいさつと致します。

《 降り立てば ミストが迎える 熊谷市 》

前熊谷東公民館長

小池 正雄

三月三十一日を以って、熊

谷東公民館長を退任致しまし  
た。平成二十年四月一日付け  
にて筑波公民館長に就任し、  
五年後の平成二十五年四月一  
日、熊谷東小学校区内の市街  
地公民館（中西、銀座、元町、  
筑波）四公民館が統合され、  
新しく熊谷東公民館の開館と  
いう大業に携わることがき  
たことは、私の生涯に於いて  
貴重な体験となりました。

熊谷東公民館の主なテーマ  
である「地域の融和と絆の追  
求」をはじめ、「生涯学習の  
拠点」として種々の事業を展  
開してまいりました。職員並  
びに関係する皆様方のご指導  
とご協力を頂き、職責を果す  
ことができ、改めて御礼を申  
し上げます。また十二年間の  
在任中、素晴らしい人達と出  
会い、色々な体験ができた事  
は、忘れがたい思い出となる  
ことと思っております。永い  
間お世話になり、ありがとう  
ございました。

《おやつには 涼しさを呼ぶ 夏野菜》

結びに、公民館活動を共に  
歩んだ方々に、感謝の意を申  
し上げ、併せて市公連の益々  
の発展を祈念致します。

前男沼公民館長

内田 章

この度、男沼公民館長を退  
任することになりました。二  
年間という短い期間でしたが、  
様々な経験をさせていただき  
充実した日々を過ごすことが  
できました。

市公連並びに各公民館のみ  
なさんには大変お世話になり、  
感謝いたします。

地域の方が誰でも気軽に参  
加できるように職員の方や主  
事さんと一緒に計画し、そば  
打ち教室、りんご狩り、健康  
体操などの楽しい行事をたく  
さん実施することができまし  
た。参加されたみなさんの笑  
顔を見ると、男沼地区のたく  
さんの人に支えられていたの  
だと実感し嬉しく思いました。  
最後になります。市公連  
並びに各公民館の益々のご発  
展を祈念し、退任の挨拶とさ  
せていただきます。ありがと  
うございました。

前妻沼中央公民館長

根岸 洋子

妻沼中央公民館長として二  
年間お世話になりました。

妻沼中央公民館は、妻沼地  
域コミュニティの拠点であり、  
地域文化の発信地の役割を担  
う一方、市全域を対象に生涯  
学習事業を展開する多様な形  
態を持つ公民館です。

このため、公民館へのニー  
ズも様々で対応に苦慮するこ  
ともありましたが、公民館運  
営に携わる皆様の御指導御協  
力のおかげで妻沼地域の良き  
伝統の中で、仲間づくり、健  
康づくりの基盤となる生涯学  
習が円滑に推進できたことに  
心から感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染予  
防で公民館にも新たな取組が  
求められている昨今、市公連  
が築きあげた豊かな見識と柔  
軟な発想力で市民生活に潤い  
をもたらす公民館事業が継続  
されますよう、また、市公連  
及び各公民館が益々御発展さ  
れますよう祈念し退任の挨拶  
とさせていただきます。

前中央公民館長

森田 安彦

中央公民館長として三年間  
大変お世話になりました。

公民館業務に初めて就き、  
終始戸惑いの中、各公民館の  
皆様の、温かい御指導、御教  
授、御協力を頂き、何とか務  
めることができました。

今後、本市における公民館  
は、超高齢化社会を迎え、多  
様化する社会情勢に柔軟に対  
応した新たな社会教育機関と  
しての機能が求められるとと  
もに、本市アセットマネジメント  
計画における市有施設の  
統廃合が具体化していきます。

「本市の公民館はどうある  
べきか」各公民館の皆様と共  
にその理想像を描き、具体化  
していかなければならない時  
期にさしかかっております。  
引き続き皆様の御指導、御協  
力をお願いいたします。

最後に、市公連及び各公民  
館のますますの御発展を祈念  
し、退任の挨拶とさせていただきます。

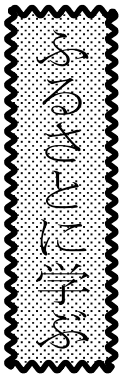
定期総会報告

五月に予定されていた令和  
二年度総会は、コロナウイル  
ス感染拡大を受け、書面表決  
による議決となり、事業計画・  
予算・役員等が承認されまし  
た。

【令和二年度役員】

- 会長 山川幸男(奈良)
- 副会長 吉野武治(久下)
- 副会長 渡辺 正(玉井)
- 副会長 荻野俊行(秦)
- ブロック長・監事

- 第一〃 河西昌美(箱田)
- 第二〃 前澤保雄(星宮)
- 第三〃 秋山宏之(大麻生)
- 第四〃 細川末廣(桜木)
- 第五〃 新井弘一(大原)
- 第六〃 新井英一(太田)
- 監事 田代博也(本町)
- 監事 山岸保治(大里)
- 相談役 橋本裕美(中央)
- 尚、山川会長は本年より埼玉県公民館連絡協議会会長に就任されました。



### 家庭果樹園の試み

別府公民館長

新井 守

西別府の新井家に来たのは四十年前のことです。当時「うちは田圃が八反・畑が四反の小さな農家だから、農業は私達で十分で、勤めを続けてほしい」と義父母から言われました。八反・四反の意味もよくわかりませんでした。そうは言われても、田植えや稲刈り・麦刈りは手伝いました。養蚕はどうしていいか分かりませんでした。定年後は、農業をやるようだろうと思っていました。しかし、現実には厳しいもので、この規模の農地では農業は成り立ちません。義父母は、私の定年前に義母の実家に農地を託して、機械類を全て処分しました。

私は定年を機に2反(約600坪)の敷地の活用を考えました。たまたま、敷地の北側の市道が拡幅・整備されることになり、そこに植えてある木

々は伐採されることになりました。そこで、他の大きくなつた杉や梅・柿等も伐採して家庭菜園ならぬ家庭果樹園を作ってみることにしました。東松山地方庁舎に勤務していた頃、農林事務所で販売したリンゴのフジとツガルの苗を買って植えてみましたが、まったくうまくいかなかった経験があつたからです。

現在、敷地の内には、リンゴのフジ・ツガル・世界一・シナノスイート・秋映・ぐんま名月の六種類八本があります。梨は幸水・豊水の二種類各一本です。柿は、以前からあつた富有柿と新種のタイシユウがあります。他にも、柚子・夏ミカン・スモモが以前から植えてあります。

リンゴや梨・スモモ等のバラ科の木は、自家受粉では果実はできません。同じ品種の木を何本植えても実は生りません。自家不和合性といいますが、開花期(相性)を調べて、組み合わせを考慮して、受粉樹を植えなければなりません。昨年、リンゴ・梨に合計で約千袋をかけたのですが、カラ

ス等の鳥や虫に食べられて、家族で食べたり、親戚や近所に配ることができたのは、二百個程度でした。反省点がたくさんあります。ツガルやシナノスイートは、別府でも真赤に色付きますが、フジや世界一は、うまく色付けできていません。

これからも、別府地区の気候に適した品種や栽培方法を研究し、見て楽しい、食べておいしい庭作りを通して、別府地区の良さを学んでいきたいと思ひます。

### 上石地区の歴史

活き活き教室講座より

(市史編さん室指導)

上石公民館長

瀧澤 繁雄

「石原」地名の由来

荒川の流れによって当地が「石の原」であつたことにより「いしわら」と言われた。

一、古墳く奈良時代  
かつて四十八塚と呼ばれ、古墳が密集していた。石原古墳群である。

二、鎌倉く戦国時代  
石原を本拠としたと思われ

る石原氏の存在がある。  
・貞永元年(一一三三年)  
石原経景が鎌倉幕府から「樽沼堤」の修復を命じられていた。

・建武二年(一二三五年)

北条時行の起こした中先代の乱で討ち死した者の中に、石原惟義、頼輔、高貞らの名前があつたと言われている。

・天正十年(一五八二年)

忍城の成田氏の家臣の中に石原式部左衛門、石原源太兵衛等の名前があつた。(「成田分限帳」より)

三、江戸時代

・天正十八年(一五九〇年)  
徳川家康の関東入府後、城和泉守昌茂の領地となる。  
・忍藩の支配

村高(天正年間 一二六一)

石) 戸口(文化・文政年間 三二〇余戸)

生業は農業・養蚕・商家  
生業は「中山道宿村大概帳」で『農業之間、石原村八蚕いたし、其外往還家並之内、食物を商ふ茶店、其外諸商人渡世有之』と示されていた。

字については、下石原、上中・下うへき、坪井、五本榎、一本松、本村が「新編武蔵風土記稿」に示されている。  
四、明治以降

明治四年七月忍県↓十一月入間県↓明治六年熊谷県↓

明治九年埼玉県

明治十二年(一八七九年)

町村会を組織する。当時は農村部の上石地区と、商業が盛んな下石地区とで議論が紛糾し、町村費は、上石、下石で折半。下石に役場出張所を設け、事務を分掌していた。  
明治二十二年(一八八九年)

四月) 熊谷宿と石原村が合併し、熊谷町となる。合併後は熊谷市大字石原となり現在に至っている。

〔参考資料等〕

上石公民館「活き活き教室講座」(二〇一七年)の「上石地区の歴史」と題しての講座資料を参考にさせていただいた。講師の市史編さん室の小林久美子様には、その後もご示唆をいただき感謝申し上げます。

### 《エコカーも 使いすぎれば 火の車》

# 学級講座紹介

新しいことを

始めるならば公民館

籠原公民館長

高田 守康

籠原地区は、自衛隊用地を含め、豊かな土地に恵まれていました。昭和30年代に工業団地として開発され、大企業誘致が行われたため、全国各地から大勢の人々が移り住んで、市内有数の人口を持つに至りました。

昭和56年に三尻公民館の分館として建設された籠原公民館は、年間利用者が3万人に及ぶ盛況でしたが、高齢化と共に減少し、令和元年度は1万5千人をやや上回るにとどまりました。

昨元年度の学級講座は、六月から翌年二月まで11回開催しました。開講前に締め切る申し込み者は103名。実際に受講した人数は延べ70名以上に及び、広からぬ教室は常に満席状態でした。学習時間は10時から11時半までとしています。

以下に昨年度実施した学習の中から幾つかを取り上げて

## 《クールシェア 涼と団らん 一石二鳥》

みましよう。

「異文化交流」

毎年一回は、在日外国人の方を招いて、主に自国の文化等のお話をお願いしています。が、昨年度は熊谷市国際交流協会を通して来られた講師に台湾のお話をして頂きました。異文化について、その国の人から直接お話を聴ける貴重な体験です。

「童謡を歌おう」

誰もが知っている歌を、皆で声を合わせて歌おうという企画で、これも毎年一回は、

学習テーマに組み入れていきます。主に合田朝子先生にお願いして、時には「さくらめいと」月のホールで行うこともあり、高齢の方の多い生徒の皆さんも、大きな声と一緒に歌える楽しいひと時です。

「マジックショー」

佐谷田マジッククラブから数名の方に参加して頂き、各種マジックを披露して頂きました。狭い教室の中、すぐ目の前で行うマジックですが、先生方の巧みな技術で魅了してくれ、時には、わざと失敗してみせる、これも楽しいひと時です。

「初わらいー落語」

「おもしろ荘」の方々

をお呼びし、令和元年正月早々、皆さんに大いに笑っていただきました。真面目な学習内容の多い中、生徒の皆さんに笑って頂く企画の一つです。

仲間との交流と教養を

高める講座をめざして

吉岡公民館

主事 猪野 和幸

吉岡公民館では、ふれあい学級と一般学級の二つの学級講座を開催しています。

ふれあい学級は、「仲間との交流を深め教養を高めましょう」のテーマのもと、五月に参加者を募集し、年間を通して十回学習を行っています。令和元年度は登録者が八十三名あり、毎回公民館のホールが満員となるくらい多くの方に参加していただきました。概要は、次のとおりです。

- 一、市政宅配講座の中から二回（健康づくりと地域の歴史を学ぶの二つのテーマで）
- ①高齢者の心と身体く老いに負けない！心と身体作り
- ②熊谷の古寺・仏像巡礼
- 寺院から捉える熊谷の郷土

と信仰の歴史

- 二、落語くおもしろ荘の皆さんの高座
- 三、人権講座く日常生活における色々な人権について
- 四、地域の指導者による講話

(二回)

- ①吉岡の地藏尊く吉岡地区に見られる地藏尊
- ②人生雑感く災害避難を経験して（十九号台風）



カップヌードルミュージアム

五、館外研修 (二回)

- ①サクランボ狩り・たくみの里を訪ねて（六月二十七日実施）
  - ②横浜三溪園・カップヌードルミュージアム見学（十月三十一日実施）
- 一般学級は、小学生から高齢者まで講座ごとに参加者を募集しています。陶芸（二回）・民謡（一回）・地域人権

研修（一回）・木目込み人形作り（二回）・糺みそづくり（一回）・キムチ漬け講習会（二回）・昔の遊び（吉岡小で実施）の七講座を実施しています。陶芸や木目込み人形の作品は、熊谷市公民館祭りにも出品しています。

吉岡公民館の学習講座も高齢化が課題となっています。しかし、参加者の皆さんの年齢に関係なく学ぶ姿勢は、本当に素晴らしいものがあります。

今年は、新型コロナウイルス対策で対応が難しくなりませんが、内容の充実を図り、皆さんの期待に応えていきたいと考えております。

### 編集後記

三月から三カ月休館のため公民館施設が使用できない事態の中、新旧館長様をはじめ皆様のご協力により市公連だより第29号を発行する事ができました。

この経験は、地域の生涯学習、コミュニティ活動の拠点として、公民館の重要性を再認識する機会となるように思います。今後とも地域のため頑張ります。